

「凡事徹底」は、平凡なことを非凡なほどに実行すること。当たり前前のこと当たり前前にできるようになることで大事を成せる。能力も経験もなかった私が、大事にしている言葉です。

アルバイトとしてコープみやざきに就職した私が、自分でも分かるくらいフロアでイキイキと働いていると、チャンスが次々訪れました。「水産の清掃・片付けをやってみらんね?」と笑顔の店長。清掃の仕事は、チャレンジして2か月でマスターした頃、今度は「魚をさばいてみらんね?」と笑顔のお誘い。「まずはやってみよう!」とふたつ返事でチャレンジ。魚さばきと清掃の二刀流にも慣れてきたころ、職員さんからこんな言葉をかけられました。「この前ね、パートのおばちゃんたちで食事をしたときに中武くんの話が出たの。中武くんは汚れがひどくなるアラ受け箱(魚のアラを溜める箱)を一生懸命、すぐくキレイに洗ってくれるじゃない?店長やマネージャーはきつと、そんなところを観て水産の仕事を任せたと思うのよ」。この言葉には「自分は誰かの役に立っている。そして自分を観てくれている人がたくさんいる」と勇気をいただき、やりがいを感じたのを覚えています。

それと、当時の水産マネージャーの口癖「中武くん、人の喜ぶことを一生懸命すると未来が開けるよ」。学校にも行かず、劣等感と未来への不安を感じていた当時の私にとって、大きな希望をもらえる言葉でした。

アルバイトからパート職員になり、2年が過ぎた21歳の春、水産部門マネージャーの辞令をいただきました。職場のみなさんにも支えられながら、仕事も学校も順風満帆。8年越しの高校卒業を前に、専任職の採用試験に合格。24歳の春、晴れてフルタイム職員として採用されました。さらに2年後、総合職の登用試験にも合格でき、結婚もして2人の娘にも恵まれました。

コープみやざきには、アルバイトやパートタイムである時給職から、職種を選択する専任職、すべての職種を担う総合職まで、様々な職員制度があります。アルバイトで入った私が総合職職員になれたのも、この職員制度とステップアップできる登用制度があるおかげです。また給与体系は能力給ではなく、年齢に合わせて昇給する生活給になっています。これには、まわりを蹴落として自分だけがよければいいのではなく、「職員同士が良いところを学び合い、みんなで力を合わせて目標を達成していこう」という、組織としての思いが込められています。こんなところにも、職場の働きやすさを感じています。

ふと思いつくのが父の口癖「感謝の気持ちをもちなさい」の言葉。ここまで来れたのも自分一人の力じゃない。家族や職場、まわりの人に感謝の気持ちをもって生きなさいと。

現在は、店舗支援部の水産部門担当として、店舗運営をサポートする仕事をしています。水産部門のマネージャーや部門職員のみなさんと一緒になって元気に仕事に取り組む。そして、みんなで知恵と力を出し合って目標を達成しながら、一人ひとりが成長していく。そんなことを大切にしながら、そして、まわりのみなさんに「感謝の気持ちをもつ」ことを大切に、これからも仕事に取り組んでいきたいと思っています。

# Akira Nakatake

小さなことを凡事徹底。  
感謝の気持ちをもってチャンスはつかみ取る!







## コープみやざきに出会えたから もらえた未来

「中武くん、きみは通信制の高校に行きなさい」。中学3年生になった私は、先生からいただいた言葉をきっかけに進路を決めました。当時の私は、家庭の事情や友人関係で悩み、自宅に引きこもっていました。「高校ではしっかり通おう!」と誓いを立てたにもかかわらず、またまた悪い癖が発症しました。「自分には何の価値もない」と思い悩む日々を舞い戻ったある日、家計が火の車だと知り「家でゴロゴロしている場合じゃない!自分も稼がな!」と一念発起。探した仕事が、コープみやざきフロア部門の品出しアルバイトでした。

人生で初めての仕事は、覚えることや慣れないことが多くて「お金を貰うって大変なんだなあ」と実感。それでも辞めたいと思わなかったのは、職員さんたちが「中武くん、今日もありがとうね!」と声をかけてくれて、「仕事だから当たり前なのに感謝してもらえるなんて嬉しい!自分なんかにも優しく接してくれる人がいる。働くって楽しいかも!?!」と感じていたからだと思います。

人が怖くて学校にも行けず、引きこもり&ニートだった私は、こうして楽しく働けるようになりました。仕事での様々な体験や、職員さんたちの優しい思いやりのおかげで精神面も克服できた私は、ようやく目を背けてきた“自分の将来”に向き合えるようになりました。そして気づくのです。「あ、学校行ってないや」と(笑)。そこからは、職員さんたちからもらう「ちゃんと学校には行ってるの!?!」の温かい声かけに支えられて、登校と仕事を両立しながら足かけ8年。長い長い高校生活を卒業することができたのでした。

